

1月3日 愛宕山

藤村 敏幸

山名	愛宕山	山行名	新春愛宕山登山	
ルート	JR 保津峡駅→水尾の里→水尾分かれ→愛宕山神社→水尾分かれ→JR 保津峡駅			
山行日	令和3年1月3日	天候	曇り	
参加者	CL: 藤村 SL: 森本 玉置 伊藤多恵子 蒲田 川上 高橋 竹村 吉田 西川 中田 11名			
	コースタイム			
	地名	時:分		
	保津峡駅発	8:45	愛宕神社着	12:23
	水尾の里着	9:45	愛宕神社発	13:25
	水尾分かれ着	11:28	水尾分かれ着	13:55
	水尾分かれ発	11:38	水尾分かれ発	14:00

毎年恒例の新春登山で多くの方の参加を期待していたが、コロナ禍の為11名の参加となる。(昨年13名)1週間前の予報では記録的豪雪との報道があり、実施できるか心配したが、30日から31日の雪は小降りで見守る。ただ「天気とくらす」では頂上での風速が17mと予測されており、凍えるような寒さになるのではと不安な思いで登山をするが、頂上はマイナス3度程度・無風で今回もまた間違い予想でした。コロナ禍を避ける為今回は、保津峡駅から水尾の里を経由するルートで登り水尾分かれまでは、殆ど登山者に合うことはなく、今年はやはり登山者が少ないのではと思っていたが、表参道に出ると多くの家族やグループに出会う。当初約5時間歩行で計画していたが、残雪の可能性があり、出発時間を30分早め、又到着時間を1時間遅くして6時間30分歩行として参加者に連絡する。

残雪は予想より少なく、又下山ルートをつつじ尾根経由に変更したことにより予定より40分早く保津峡駅に到着する。各区分での予実対比を見ると水尾の里から水尾分かれまでの急登をYAMAPのコースタイムの1.2倍の時間で登りました。道幅が広く、道表面に凹凸はなく表参道や月輪寺の道より格段に歩きやすい道ではあるが、ゆっくり歩き又途中からアイゼン装着でこの倍率で登れたのはおかしいと思い他のガイドブックで調べるとこのコースを70分(この場合は1.4倍)としている本もありました。つつじ尾根の下山については、コースタイムの1.5倍も要した。道の整備が悪く、又滑る箇所も多く、今回は保津峡前までアイゼン装着でしたのでやむを得ないと思います。神社に到着後、参拝、写真撮影、昼食、ぜんざいと楽しく1時間過ごしました。

天候は予報では、晴れ時々曇りでしたが、ほぼ一日中曇りでした。表参道登り時にやや強い横風があるが、震え上がるほどでもなく、着込んだ防寒具により少し温まった体には心地よく感じる程度である。神社出発から保津峡駅前までアイゼンを装着した状態で2時間30分歩き通し、きっと翌日には筋肉痛になられた皆さまご苦労さまでした。ぜんざいの準備Tさんありがとうございました。

出発地	到着地	コースタイム	実歩行時間
保津峡駅	水尾の里	60	58
水尾の里	水尾分かれ	85	103
水尾分かれ	愛宕神社	55	50
愛宕神社	水尾分かれ	35	30
水尾分かれ	保津峡駅	90	120
		325	361

コースタイムはYAMAPより計算

ヒヤリハット なし

## 感想文

中田 繁男

新春の愛宕山に新しく入会された皆さんと参加しました。

流石に社務所付近は雪が舞うような寒さでしたが、幸い風が止んで温かい「ぜんざい」を賞味できた。美味過ぎて3杯目は遠慮がちですが頂きました。

途中は新入会員さんのパワーに圧倒され続けた一日でした

森本 竜二

2017年の入会以来、新春愛宕山行には毎回参加し4度目となりました。その間に京都駅から清滝行のバスも無くなりました。今回は初めてJR保津峡下車、水尾登山口からの山行になりました。

水尾の里では「柚子風呂に地鶏鍋は最高やね。」と声がしましたが、誰も利用したことは無いようでした。登り始めてしばらくするとつららに迎えられ、少し溶けた雪が再度冷えて固まった状態のところアイゼン装着、アイゼントレの成果でスムーズにできました。

そこから下山のつつじ尾根を降り切るまで、途中雪は無くなるも安全のため装着し続け、良いアイゼン実戦トレになりました。

CL藤村さんのきめ細やかな計画の中、玉置さんを中心に女性陣のチームワークで熱々のぜんざいも頂き有り難うございました。本年も宜しくお願いします。

伊藤多恵子

例年お正月は田舎に帰省していたので、愛宕山初詣登山に参加するのは初めてでした。「ぜんざいが美味しかった！」という感想文を読むたび、一度味わってみたいものだと思っていました。そんなもの一人でも食べられると言われそうですが、やはりみんなで食べるのが美味しいのでしょ！

で、食べました、待望のぜんざい。これが本当においしかったのです。氷点下の愛宕神社の境内でお餅入りの熱々を食べると身も心も温まりました。重い荷物を運んで用意してくれたTさん、ありがとうございました。

ところで、今回の例会には近年入会のメンバーが多かったのですが、そのエネルギーとパワーには圧倒されっぱなしでした。気が付けば、ここでは私が最高齢。ベテランのNさんと最後尾をポツポツ歩きながらNさんの悲惨な山行話を明るく聞いていました。水尾の里からのコースは初めてでしたが歩き易かったです。水尾の分かれにある小屋での休憩中、はじける笑い声に「山友会の雰囲気も変わりましたね」の音が聞こえ、「ホントに…」とうなづきました。若い人たちが増えて、今後は楽しみな会になりましたね。

竹村 直子

初登りはお馴染みの愛宕山。今回で6度目ですが、雪山も水尾の里からのルートも初めてです。ゆるやかな歩きやすい登りでお喋りがはずみ、楽々水尾の分れです。

山頂の神社では今年の安全登山とコロナの収束を祈願して、お守りも新しいものに更新。

お昼にはぜんざいをご馳走になりました。冷えた身体が温まり、疲れに甘みが染み渡りました。

下りはつつじ尾根のルートでしたが、いつも登りよりも長く感じるのが不思議です。

楽しい山行でした。皆様有難うございました。今年もよろしくお願いします。

玉置 安世

新年は愛宕山から始まりです。水尾の里からの登りは初めてなので楽しみでした。林道はすごく長いけど登り出すと意外と近かったような。愛宕神社の朝のツイッターでは気温-7度積雪10cmとの事。やっぱり寒いけど風がないのが助かりました。アイゼンは早々と出番もあり初めて雪の上を歩く人もいて、いい練習に？なりました。雪というよりシャーベットを固めたみたいな感じです。雪の愛宕山は初めてです。三が日とあって人は多かったです。ぜんざいも暖まりました。何度もおかわりに来ていたNさんとNさんが可愛かったです。新年早々笑いの絶えない山行になりました。ありがとうございます。今年も楽しい山登りが出来ますように m(\_ \_)m

蒲田 史

初めてのアイゼン。初めての雪。申し込みに躊躇しました。ついて行けるだろうか、ちゃんと下りれるだろうか。夏の教室ではツツジ尾根の下りで滑ったりバランスを大きく崩したり。そんな私が数年に一度の寒波の来た正月に参加していいのだろうか、と。

当初の計画より迂回したコースに変更され、少しは安心して参加しました。

当日はいいお天気に恵まれました。水尾の里を過ぎた辺りから雪が残っており、水尾別れの手前でアイゼンをつけました。大きなつららもあります。水尾別れからはいっぺんに雪景色に。こんな雪の中を歩いている私の姿を数か月前まで想像もしませんでした。冷たい風も気持ちよく、キュッキュと踏む雪も気持ちいいです。

愛宕神社でお参りした後、境内で用意して頂いたおぜんざいを頂きました。何とも言えない美味しさです。帰り道は、迂回コースではなくツツジ尾根を下りることに。アイゼンつけているから大丈夫、の言葉を頼りに下ります。雪がなくなるとどろどろの地面。ここで滑ったら電車に乗れない、と言いながら。なんとか今回は滑らず、ほっと一息。

お正月からこんな素敵な山行に連れて行ってくださり、お世話になった皆様に感謝です。ありがとうございました。

吉田 文恵

雪の愛宕山の美しい景色に感動しました。水尾の里からの上りは傾斜も緩やかで歩きやすく、途中から初めてのアイゼン実践での登り。雪の踏みしめる音も心地よく少し雪山の魅力を知ったような気がします。おぜんざいも美味しく身体も心も温まりました。この山の企画、準備して下さった皆様ありがとうございました。



